

研究に参加しPET検査を受けた皆様へ

（臨床研究に関する情報）

この研究は、過去に実施された別の臨床研究課題で得られたデータをまとめて解析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる方のお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

[研究課題名] [¹¹C]K-2を用いた認知症関連疾患における脳内 AMPA 受容体密度と蛋白蓄積症との関連性についての研究

[研究実施期間]: 許可日～2028年3月31日

[データ解析の対象となる研究課題名]

研究課題名：	研究計画書番号：
① 放射性リガンド [¹⁸ F]PM-PBB3 の脳内タウイメージング製剤としての有効性及び安全性に関する研究	16-036
② 脳内タウ PET イメージングを用いた統合失調症と前頭側頭型認知症の共通病態の同定に関する研究	16-037
③ 脳内ホスホジエステラーゼ 10A および脳内タウのイメージングによる双極性障害の背景病態に関する PET 研究	17-027
④ 脳内タウイメージング用放射性薬剤 [¹¹ C]PBB3 を用いた変性性認知症病態に関する研究	12-023
⑤ [¹¹ C]PBB3-PET を用いた変性性認知症病態の包括的縦断研究	14-032
⑥ [¹⁸ F]PM-PBB3 を用いた神経変性疾患におけるタウ蛋白病変と臨床症状の関連性についての研究	17-034
⑦ 軽度認知障害における脳内 monoamine oxidase-B の変化や病態との関連についての研究	20-035
⑧ 老年期精神障害の背景病態に基づく層別化およびタウ病変の進展様式の解明を目的とする PET 研究	19-040

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所 脳機能イメージング研究センター

[研究責任者] 樋口 真人

[研究の目的] この研究の目的は、脳内の AMPA 受容体、タウ蛋白質、アミロイドベータ蛋白質の測定を経時的に行うことで、認知症関連疾患における脳内 AMPA 受容体の分布を測定し、蛋白蓄積症、脳内神経伝達物質、臨床症状等との関連性を調べることです。

[研究の方法]

- 対象となる方：上記①から⑧の研究に参加し、[¹¹C]PiB又は[¹⁸F]PM-PBB3の撮像を受けた方
- 利用する研究情報：[¹¹C]PiB又は[¹⁸F]PM-PBB3のPET画像データ

別途実施済みの研究データを使用しますので、新たな検査の必要はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、その他の個人を直接識別できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も対象となる方を特定できる個人情報が公表されることはありません。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院 臨床研究支援課

電話；043-206-4713 平日： 8：30 ～ 17：00